

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年4月2日		記入者		連絡先	3174
平成18年度部名	環境保全部		課名	みどり対策課		課長名 隅河内 司
平成19年度部名	環境保全部		課名	水みどり環境課		課長名 隅河内 司
事務事業名	(財)相模原市みどりの協会補助事業					
予算上の事務事業名	(財)相模原市みどりの協会補助金					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	22330		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます					
基本施策名	第3節 みどりの保全と創造					
施策名	第3施策 緑化活動の支援					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市みどりのまちづくり基金条例、相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則					
3 個別計画の概要			概要			
計画名	さがみはら・みどりの基本計画		計画中「5.みどりの保全と緑化を進めるための施策」の1つとして、みどりの協会への支援を掲げ推進しているところ。			
計画年次	9	年度～	27	年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		▼	5 事業開始年度	平成4年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
市民の緑化意識を高め、市民総ぐるみによる都市緑化の推進を図るとともに、公園緑地の円滑な運営および健全な利用の増進をはかることにより、みどり豊かなまちづくりの推進に寄与することを目的とする(財)相模原市みどりの協会の運営費を補助する。				・市民一般 ・(財)相模原市みどりの協会		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	<p>市から財団へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(財)相模原市みどりの協会補助金として、76,939千円の助成をした。 財団から市民へ(市の補助金を活用した緑化事業) ・緑化意識の普及啓発に関する事業(市の花アジサイ普及事業、クレマチス普及事業、園芸相談など) ・都市緑化の推進に関する事業(花のまちづくり・みどりいっぱい運動、生垣設置等助成事業など) ・機関紙その他印刷物の刊行(「グリーン」の全戸配布、ホームページなど) ・講習会・講演会・展示会その他催し物等の開催(ラベンダースティック講習会、植物画教室など) ・市街地の緑地及び緑地保全地区等の保全に関する事業(緑のボランティアの育成・支援) 					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	(財)相模原市みちの協会補助事業					
8 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	82,324	84,804	76,939	73,907	73,907	
一般財源	78,603	81,068	73,199	65,011	65,011	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	3,721	3,736	3,740	8,896	8,896	
人件費の合計	0	0	0	0	0	
事業コスト合計	82,324	84,804	76,939	73,907	73,907	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	花のまちづくり・みどりいっぱい運動			対象名称 と単位	交付団体(件)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	6,730	5,980	7,550	7,550	7,550	
対 象 数	175	184	225	260	260	
単位あたり経費(円)	38,457	32,500	33,556	29,038	29,038	
前 年 度 比		0.85	1.03	0.87	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	交付団体数（件）	指標式と指標の説明	本年度 / 前年度 * 100 交付団体数の伸び率を指標とする。		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	175.0	184.0	226.0		
目標	142.0	175.0	184.0	226.0	226.0
目標達成度（%）	123.2	105.1	122.8		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	運動参加者（延人数）	指標式と指標の説明	本年度 / 前年度 * 100 参加人数の推移を緑化推進（啓発）の成果とする		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	5821.0	6400.0	6500.0		
目標	5597.0	5821.0	6400.0	6500.0	6500.0
目標達成度（%）	104.0	109.9	101.6		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		平成4年の設立以降、市民主体の都市緑化推進の中心的な役割を果たしてきた。今後、緑化推進の方向性を検討する中で、協会支援の今後のあり方について検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
市民意識を醸成し、更なる都市緑化を推進するためには、ボランティアなど市民レベルでの活動を広げる必要がある。それには、緑のボランティアセンターの設置やボランティア同士のネットワークの構築など、場や機会の充実が効果的な方策である。			市民ぐるみの都市緑化を一層推進するためには、協会運営や事業企画により多くの市民を参加させるなど、市民主体の団体づくりを更に進めることが求められている。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			